

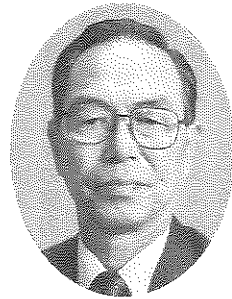
広報

むせんとう

91
No.14

発行・編集／相双地区電気工事協同組合
編集担当 相双地区電気協会
〒975 福島県原町市高見町2丁目7番地
TEL (0244) 22-1951(代)

新年のご挨拶



相双地区電気工事協同組合理事長

谷津田 倫 幸

新年明けましておめでとう
ございます。平成九年の新春
を迎え、皆様方の益々のご繁
栄とご健勝を心よりお慶び申
上げます。平素は当組合に
深いご理解とご協力を賜り感
謝申し上げます。

新年明けましておめでとう
までとはいえないものの、整備区
間に昇格された事は相双地方
の将来によりやく夜明けが来
た。

二十一世紀に向かつての明
るい見通しとなった事は、今
後大きく期待される所であり
ます。さて、我が国経済は公
共投資による景気の下支え、
並びに民間設備投資による経
済対策が図られて参りました
結果、業種により一進一退は
あるものの全体としては、緩
やかな景気の改善が続く傾向
に思われます。しかしながら、
先行きについては、収益面等
で企業に慎重な見方が残って
いる事は事実であります。全
体的な景気回復には今一步と
言うところで国内物価の安定
は続くものと思われませんが、

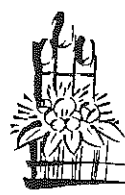
物価上昇を伴った過去の円安
局面と違い、最近はや安で輸
入価格が上昇しているにも拘
らず、物価が安定基調をたどっ
ているのが特徴と言えるよう
でございます。その背景には、
低成長のもとで企業や消費者
の低価格志向が強まっている
という、意識の変化によって
新しい競争の時代を迎えてい
る昨今、業界組織をもって適
切な対応が追われている現状
であります。この様な厳しい
経済環境の中で、本年度の重
点事業等継承の基本を踏まえ、
自助努力により技術と経営に
優れた企業として活躍できる
条件を備えることが大きな課
題と考え、いかに適正なコス
ト意識に基づいた競争と透明
性を確保し、真の顧客のニー
ズにお応えする事が第一と考
えているところであります。

更には、昨年医療福祉施設等
の不祥事が発生し、正に激動
の年でもありました。また一
方では待望であった、東北電
力(株)浪江・小高原発建設
が国土利用計画法に基づき、
正式に土地取引の届け出をす
る運びとなった。更には待ち
に待った常磐高速道路が相馬

また高齡化社会に備えての
厚生年金基金、あるいは国民
年金基金の老後の生活安定を
図っている所でもあります。更
には本年四月から週四十時間
労働時間短縮への対策を進め
ているところであります。

また高齡化社会に備えての
厚生年金基金、あるいは国民
年金基金の老後の生活安定を
図っている所でもあります。更
には本年四月から週四十時間
労働時間短縮への対策を進め
ているところであります。

何卒ご指導ご鞭撻を賜ります
ようお願い申し上げます。ご挨拶
と致します。





「厳しい時代こそ 創造と協調が大切」

東北電力(株)原町営業所 所長 大杉 喬

新年明けましておめでと
ございます。

今年も皆様のご支援とご協
力をいただき、一生懸命頑張っ
ていきたいと思っております
のでよろしくお願い申し上げ
ます。

さて、昨年は改正電気事業
法の施行や新電気料金制度の
導入など今まで経験をしなかつ
た課題を抱えながら、意識改
革と業務改革の一年だったと
言える。

電気事業法の改正は発電の
自由化という、発電市場にお
いて鉄鋼、紙、パルプ業界や
商社が卸電気供給業者として
一定の条件を満たしていれば
電力会社への入札制度に参加し、
電力会社に売買出来るもので
ある。

4月に応募した結果、電力
会社6社で必要な電源として
265万kwを募集したが、1
181万kwの応募がありま

した。当社においても15万kw
募集した結果、85万kwと約6
倍の応募があった。改めて産
業界の発電ビジネスに対する
意欲を感じた。

このことは、発電市場の自
由化の第一歩であり、電力会
社の設備投資を抑制させると
共に、コストダウンに向けて
のインセンティブに結びつけ
る効果を持たしたものと考
える。これらの経営環境や社
会情勢を踏まえながら、第一

線現場では具体的に効率化を
どうすすめていくべきかを的
確に判断しながら日々の努力
を全所一丸となり取り組んで
来られた。

例えば、営業機関連備の先
陣を切り、津島サービスセン
ターの廃止、全店一斉に係制
の廃止、口座振替率の向上、
時間外労働の削減、原価意識
に立った配電線の設計から施
行、負荷平準化対策としてのの

深夜電力のkw増、業務全般に
わたり業務の適正化と効率化
など。

また当営業所管内は、電源
地帯となっており、東京電力
の福島第一・第二原発や原町
火力1・2号機の建設、浪江・
小高原発地点の立地促進や東
電福島第一増設問題など原発

立地の国民感情が逆風の中で
原発の安全性を主に理解活動
にも取り組んで来られた。

その他、悲願である常磐自
動車道の国幹審に向けた総決
起大会や陳情など、黒子とな
りながら東北経済連合会と協
力しながら実現に向けて地域
の商工団体、市町村、各種団
体と共に活動を展開してきた。

そして昨年12月27日、国幹審
で富岡以北から相馬までが整
備路線に格上げされ、いよいよ
当北方にも高速の時代を迎
えることになった。

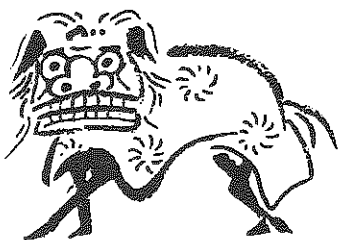
このように昨年一年間、当

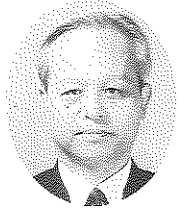
地域には色々なことがありま
した。まだまだ皆様にもご報
告しなければならぬことが
ありますが、今年の景気動向
とそれらと共に発生すること
が予想される電気事業の課題
について述べさせていただきます。
第一に、景気動向でありま
すが、アメリカ経済はここ2
3年安定しており、更に拡
大基調にあり、円安・ドル高
は当然続くものと考えられる。
日本経済は行政・財政改革を
断行しない限り「日本経済の
明日」がないと言われるよう
な最悪の状態となっており、
今年こそ手を打たなければな
らない年である。このため、
今年には公共投資の抑制、住宅
投資の減、4月からの消費税
2%アップ、特別減税の廃止
など景気回復の好材料はない
と判断している。このような
景況感の中で、電力会社にお
いても計画的な電気料金の引
下げや電力など独占企業への
規制緩和並びに分割化が予想
されており、更に一段と厳し
い環境となる。

昨年に引き続き経営効率化に
努めながら、社会情報を把握

しながら前向きな対策と戦略
が必要となる。従って、厳し
い時こそ創造力の発揮と電力
グループ相互の協調が益々大
切になると考えている。「自
分だけが良ければ」との考え
は時代遅れの発想であり、今
こそ力を結集し「ひとつの力
と知恵」によって、この厳し
い時代を生き延びることが我々
の課題であり、使命であると
思う。

以上





年頭のご挨拶

東北電力(株)相馬営業所 所長

近内与四雄

新年明けましておめでとう
ございます。組合員の皆様にご
おかれましては、ご家族共々
輝かしい希望に満ちた新春を
迎えられた事とお慶び申し上
げます。

まだまだ先行は不透明であり
ます。今年実施される消費税
率アップなどにより景気の低
迷が予測され、景気回復後基
調の実感は極めて低調な状況
になっていると思われま

時代への突入など慌ただしい
一年でありました。そして、
会社経営効率化計画に基づく
諸施策の具体的展開を厳しく
求められたわけでありま

また、本年は本格的な営業
機関組織整備といたしまして、
相馬営業所が三月一日より新
たな営業所として、営業拠点
の事業所として生まれ変わる
こととなります。営業所人員

が減少しても、営業所の機能
は基本的に変わりませんが、
お客様へのサービス低下とな
らないよう原町営業所と密接
な連携を図りながら、全所員
一丸となってスムーズな移行
に向けて準備を進めていると
ころでございます。

さて昨年をふり返ってみま
すと、長期にわたる経済不況
の中で、若干なりとも景気回
復の動きが感じられたものの、

一方、皆様もご承知の通り、
三十一年ぶりの電気事業法の
改正と料金引下げの本格実施、
規制緩和による新しい競争の

相馬営業所全般についてみ
ましても、深夜電力の需要開
発などの窓口として、組合員
の皆様が大変お世話になって
いたお客様サービス課が、原

者作業者の差別なく一体にな
り技術の錬磨、知識の向上以
外には有りません。危険な箇
所を取り出し、快適な環境を
作り、楽しい毎日を過ごす事
だと思えます。また足場の確
保をしっかりとして、KYT、

「健康第一」を目標に、組合
の皆様と手を携えて本年も頑
張って参りたいと思えます。
今後とも、更なるご支援、
ご協力をお願い致すと共に、
皆様のご活躍をご祈念申し上
げ、新年のご挨拶に代えさせ
ていただきます。

継続して安全を

安全対策委員長

八巻正隆



輝かしい新年を迎え、新た
な出船として順風満帆を唱え
我が業界が大海原へ向けて、
安全の大きな文字を満載にし
出航致します。思えば、昨年
までの労働災害は長期的には
減少の傾向をたどっておりま
したが近年減少の度合が鈍化
しつつ、死亡災害については
増加状況下にあります。我

が安全対策委員会は組合員全
社に対し基本ルールの遵守と
マナーを強化し、安全標語募
集による、毎月の安全目標机
上アクリルカードの作成、そ
してポスターの作成、また常
時用のぼり「必ず点検、活か
そう結果」の購入等、知恵を
しぼり計画致しました。しか
しこれらを適正に使用し、事

故撲滅はもちろんの事、社員
一人一人に徹底していただく
様お願いを申し上げます。ま
たがいかがでしたでしょうか。
もうチョットという事業所等
が有りましたならば、引き続
き継続して下されば必ずしや
結果が出るものと確信をして
おります。

これからの安全対策は経営
町営業所に統合されたことも
その一つであります。特に電
気温水器の推奨につきましては
は、日頃から皆様方の積極的
な取組みをいただき、目標に
向けて着実な伸展をしており
ます。今後とも原町営業所を
拠点とした相双地区の営業開
発推進について、将来同様よ
ろしくお願いいたします。

分は自腹を切って負担をし、
精神的苦痛を味わっている方々
が多いと聞いております。仕
様書等のチェック、電柱等の
確認、お客様立会いによる各
試験調整、その他必要と思わ
れる点、全てを考慮をしてい
ただき、決して我が組合員か
ら重大事故を出さない様、更
なる勉強会をして行きたいと
思います。どうか組合員の皆
さん、全員で唱和をお願い致
します。
今日も一日安全作業ヨシ。



年頭にあたって

総務委員長 早川 武邦

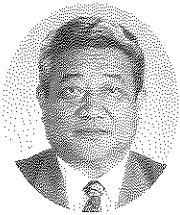
明けましておめでとうござ
います。
平成九年の希望に満ちた新春
を迎え、皆様方の益々のご繁
栄とご健勝を心よりお慶び申
し上げます。

昨年を顧みますと、長期にお
たり低迷を続けておりました
国内景気は緩やかながら着実
に回復しておりますものの、

建設業界を取り巻く環境は依
然として厳しいものがあり、
官公需要の落ち込みに加え民
間需要についても経済情勢の
不確定要素から期待が出来ず、
総体的に受注面の減少が大き
くて、電気工事業界も多難な
年でありました。

さて、今年度を展望致しま
すと、四月以降の消費税アッ
プに伴い県内需要の指標となっ
ている住宅の新築着工件数も

この様に厳しい経済情勢で



新年を迎えて想う

技術経営委員長 鈴木 昭一

新年、明けましておめでとう
ございます。

組合員の皆様には、輝かしい
新春をお迎えの事と、心より
お喜び申し上げます。
さて、平成八年まで、組合
員の皆様には、最大の御協力
をいただき、平成八年度の
「電気温水器わくわくキャン

ペーン」に関しては、電力エ
ルクさんの協力のもとにスター
トして、その後順調な伸びを
示しております。これも一重
に組合員各位のご努力の賜と
存じ、心より御礼を申し上げ
ます。又、共同保守管理業
務に関しましては、各官庁、
市町村へ、事あるごとに、ア

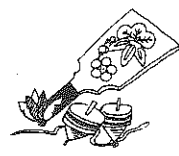
ピールし保守管理業務の必要
性と、予算化を訴えてまいり
ました。その結果、本年度末
頃には、管理業務に関するの
見積り等の問い合わせが出て
来るものと思われれます。その
節には、組合員ごぞって、共
同保守管理業務に、ご協力の
程をお願いしたいと存じます。

この保守管理点検業務は、
組合員各社の、手の隙してい
る時に、資材を用せず業務
が出来、そして重労働でも無
く、設備を持つお客様より感
謝され楽しい仕事の一つにな
るものと思われれます。皆様も、
ぜひ、事有るごとに役所や、
一般需要家の方々に言葉をか
け、点検業務勧誘を心がけて
ほしいと想います。

我が、相双地区に於いては、
保守技術員が約3分の1程度
で、今後、9年度中にも、技
術講習会を開きますので、ぜ

はありますが、創意と工夫に
よって今年に更に発展される
ことをお祈り致しますととも
に、組合員の皆様にとりまし
ても充実した年となります事
をご期待申し上げます、ご挨拶と
致します。
本年もなにとぞよろしくお
願い申し上げます。

ひ参加されまして、資格の取
得をされる様お願いいたしま
す。
平成九年は丑年です。牛歩
の様に確実に我が委員会も、
一步一步勉強し、活動して行
きたいと存じます。組合員の
皆様の御協力をよろしくお願
い申し上げます。



理事會開催

第三回理事会

平成八年七月二十二日 午後四時より新かとの会議室に於いて、理事七名が出席し開催。次の議題について審議された。

第一号議案

第二種電気工事士講習会について

第二号議案

引入線電線(DV線)の売買契約について

第三号議案

電気使用安全月間について

第四号議案

共同保守管理業務官公庁施設契約促進について

第五号議案

その他

第四回理事会

平成八年九月十八日 午前十一時より、第一イン原町の会議室に於いて、理事七名が出席して開催。

第一号議案

新規組合員加入について
十月一日より、(株)昭栄(代表取締役 吉田 昂氏)が加入承認された。

第二号議案

厚生年金基金、国民年金基金の加入促進について

第三号議案

その他
厚生事業委員会より
第二種電気工事士講習受講者の結果報告

第四号議案

学科 四十四名中二十八名 合格 合格率六四%
技能 四十八名中三十六名 合格 合格率七五%
第三回ゴルフ大会について

第五号議案

平成八年十月二十二日 午前四時より第一イン原町の会議室に於いて、理事七名が出席して開催。

第一号議案

平成八年度九月末の一般会計収支計算書、試算表について

第二号議案

電気温水器販売促進キャンペーンの実施について

第三号議案

組合員外の名儀貸の件について

第四号議案

組合員外の名儀貸の件について

第五号議案

組合員外の名儀貸の件について

組合創立五十周年記念行事について

第五号議案

その他
忘年会・新年会の日程について
忘年会 十二月四日(木)
新年会 一月十八日(土)
□イヤルホテル丸屋
○事業委員会より報告
○外線業者の今後の動向について
○防寒防災作業服の斡旋について

第六号議案

○防寒防災作業服の斡旋について

第七号議案

○防寒防災作業服の斡旋について

第八号議案

平成八年十二月四日 午後四時より弥助館に於いて、理事八名が出席して開催。

第一号議案

新規加入組合員の可否について

第二号議案

十二月一日より、(有)相馬電気工事務所(代表取締役 高野道安氏)が加入承認された。

第三号議案

員外業者への名儀貸しについて

第四号議案

その他

第五号議案

○電気使用申込方法変更の対応について

○ゴルフ大会収支報告

第六号議案

○電気温水器キャンペーンの助成について

第七号議案

平成八年十二月二十六日 午前十時組合会議室に於いて、理事八名が出席し開催。

第八号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第九号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第十号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第十一号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第十二号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第十三号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

第十四号議案

慶弔見舞規定の見直しについて

午前十一時より組合会議室に於いて、委員四名のもと開催。

協議事項

一、新規組合員加入審査について (有)相馬電気工業所
二、員外業者への名儀貸について

技術経営委員会

平成八年十月三日(土)午後三時より組合会議室に於いて、委員八名が出席して開催。

協議事項

一、共同保守技術員の講習会開催について
二、電気温水器販売促進キャンペーンの協力の件について
三、電気使用申込申請手続き業務について

厚生事業委員会

平成八年五月十六日午後一時三〇分組合会議室に於いて、委員七名が出席して開催。

協議事項

第二種電気工事士試験講習会式次第内容の説明を行い、開講式に出席した。

協議事項

平成八年十月七日午後三時より組合会議室に於いて、委員九名が出席し開催。

協議事項

平成八年十一月二十八日(木)

協議事項

平成八年十一月二十八日(木)

協議事項

平成八年十一月二十八日(木)

各委員会より

協議事項

- 一、第三回親睦ゴルフ大会開催について
 - 二、第二種電気工事士試験結果報告
 - 三、第一種、第二種電気工事士受験に向けての講習会開催計画について
 - 四、その他
- 組合研修旅行の件について

職長教育

平成八年七月十日、十一日東北電力(株)総合技術訓練センターに於いて、建設業労働災害防止協会福島支部の遠藤秀治様を講師にお招き実施した。

福島県中小企業団体中央会

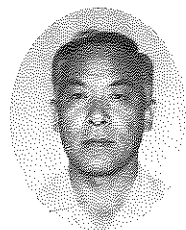
労働力確保
組合集中指導事業
懇談会の開催
第一回 平成八年九月十六日
第二回 平成八年十月二二日

保守技術員講習会開催

平成八年十一月六日組合会議室に於いて、いわき地区電気工事協組副理事長、宮原降様を講師にお招き開催した。

組合員新規加入者

紹介



平成八年十月一日より理事会の承認を得て加入された。

◎(株)昭栄

双葉郡双葉町大字長塚字

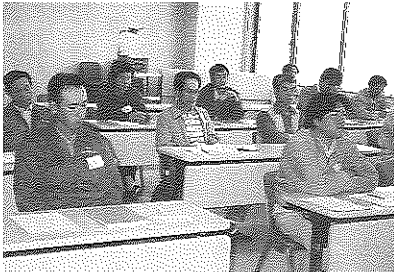
谷沢町二十二番地

代表 吉田 昂

(〇二四〇)三三一二五七一

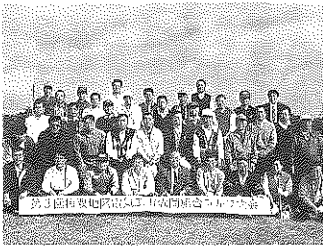
◎(株)昭栄

●安全対策委員会
平成八年八月七日、十日の両日、八月いっぱい繰り広げられた電気使用安全月間行事として安全対策委員はキャラバン隊を組み電気使用安全のためにPRキャンペーンを実施した。



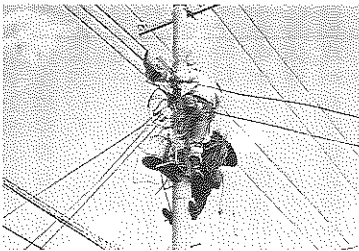
第二回親睦ゴルフ大会開催

平成八年十月二十四日
富岡町 リベラルヒルズゴルフクラブに於いて開催。



危険予知訓練と安全作業教育

平成八年十二月三日～五日実施。



平成八年十二月一日より理事会の承認を得て加入された。

◎(株)相馬電気工業所

相馬市塚部字新城下六一一

代表 高野 道安

